

炎の星、生命の木、星、まよう竜の星

小学四年 田口 真優 まゆ

ぼくが宇宙に行くのなら、二つのわく星を
探したいです。それは、炎の星、生命の木の
星、そしてまよう竜の星です。

炎の星は、星全体が太陽みたいに燃えてい
る星です。そこでぼくは、その炎の中にも生
きる生物を探して研究したいです。

もしその生物が生きられる理由が体の周りに
のコーティングのようなものがあったら、その
成分を消防士さんの服にぬります。そろそろ
ら、火事的时候可以火の中に飛びこんで大丈夫
です。

もしその成分を粉みたいにできるなら、薬
にして飲めば体が燃えなくなるようにすると
か、消火器の代わりに家に置いておいて、火
事になったら自分の体にくまっけでから逃げ
るようにしたいです。

二つ目の生命の木、星は、全部の動物が木

の突になつてたくすん生まれてくる屋です。
 その木の研究をしてひみつがわかれば、人
 間の赤ちゃんもその木から生まれてこさせ
 ることが出来るようになりませう。よくニエー又
 で少子化といふことが問題になつています。か
 木の突のように一回でたくすん生まれてくれ
 ば、日本も困らなくなります。

人間だけでなく、いんぐとめ絶えつしえう
 な動物もその木から生まれるようにすれば、
 いろんな絶えつしえう種も救えるからいいと思
 います。

最後のきよさの電の屋は、地球では絶えつし
 えしまつたはずの中、電が生まれてくる屋で
 す。

地球では、さう電の化石が見つからな
 いのび、本当はさう電がどんな色をしてい
 たのかもわかっていないけれど、もしや、
 電が生まれてくる屋をみつけられたら、本当の
 色が動物がわかるかもしれない。本当の
 いんぐとめといふことがわかってきます。

ぼくが考えた二つの星のことを家族に話したら、

「どれも夢みたいな話だね」と言われました。

ぼくは宇宙に行きたいこともないし、これくらい広いのかもわからないし、そもそも宇宙という空間が夢のようないじょうです。だからこそ、地球では不可能だと思われることばかりえないと思われていたことも、宇宙にならぬしかりである人ばかりないかと思わせたことがあります。

今日自分がどんなわく星を探したりかかを考えたり、他のみんなとはどんなわく星を探そうとしていくのかとも知りたくなりました。ぼくはぼくがわく星が好きなあのころ、そういう動物がたぶんみんないる星があったらいいなと思いました。くりしんぼうが子だつたら、お菓子がどんな出さく星を探したいか書いてあるのかも知れません。宇宙におもしろい星がいっぱいあるといい

か
と
思
い
持
ち
。